

## 第 6 回「オンラインでの対話活動」

### ふりかえりシート まとめ

【参加者】 13 人 ※スタッフ 4 人（県多文化共生課 2 人、県国際交流協会 2 人）を含まない。

（内訳）日本語支援者 8 人（磐田市関係 3 人、菊川市関係 5 人）

国際交流協会スタッフ 1 人（磐田国際交流協会 1 人）

行政職員 4 人（磐田市 2 人、菊川市 2 人）

【回収数】 8 枚

#### 【1】講座の内容はいかがでしたか。

	よかった 5	4	3	2	よくなかった 1
〈集計〉	6 人	2 人	0 人	0 人	0 人
〈理由〉	<ul style="list-style-type: none"><li>・体験型だったため、よくわかった。</li><li>・ZOOM 未経験だったので実技でよくわかった。ただ、憶える分量多かった。（パソコン持込みで）</li><li>・オンラインによる講座に興味があったため。</li></ul>				

#### 【2】内容はわかりやすかったですか。

	わかりやすかった 5	4	3	2	わかりにくかった 1
〈集計〉	6 人	2 人	0 人	0 人	0 人
〈理由〉	<ul style="list-style-type: none"><li>・みなさんで ZOOM を体験できた。</li><li>・わかり易い説明であったが、若い森さんのお陰で、ZOOM インストールしてもらい助かった。</li><li>・初歩的なものから、教えていただき、わかりやすかったです。</li></ul>				

#### ●気づいたこと、感じたこと

〈磐田市関係者〉

- ・学習者が ZOOM に携帯で参加することが多いので今日は、自分も携帯で参加してみました。画面が小さいですが、使い方になれたら携帯でもしっかり参加できると思いました。1 つ気づいたことですが、携帯、パソコンの画面上と、スクリーンの間に時差が 1～2 秒ほどあると感じま

した。(松浦祐子：(一社) 磐田国際交流協会)

- ・奥が深い。フル活用できたら、楽しそう。(村井智和：磐田市地域づくり応援課)

#### 〈菊川市関係者〉

- ・Zoom 画面を見ながらで、参加者の顔がみえ、対話が面白くなった。今回の第 6 回が参加者参加で楽しくなる学習できました。外国人も同じ気持ちと思うので、なるべく学習者参加型でやっていきたい。コロナ下、Zoom 技術は有用だ。(太田光輝：菊川市国際交流協会)
- ・これからの時代は、日本語教室や日本語学習の多様化が考えられます。参加者や、時代のニーズに合わせたものを提供できるように、常に新しいやり方や改善が必要だと思いました。(坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室)
- ・これまで、分からなかったことが、理解できて、ありがたかった。(高山晃：袋井国際交流協会)
- ・ハイブリッドをするにあたっては、人員や機器準備が必要だと思いました。対面でもオンラインでも準備することは同じなので大差ないですね。オンラインでやるためには相手方の PC 能力も求められると、まずは少人数で…。(望月香：虹の架け橋菊川小笠教室)

### ●よくわからなかったこと、疑問に思ったこと

#### 〈磐田市関係者〉

- ・数えだしたらキリがありません。覚えるより、慣れろですね。(村井智和：磐田市地域づくり応援課)

#### 〈菊川市関係者〉

- ・Zoom の解説書を購入して自習でわからない所を勉強したい。初期日本語教室で Zoom 利用はむずかしいが、若い学生の外国人なら、オンライン対話も将来出来そう。(太田光輝：菊川市国際交流協会)
- ・Wi-Fi の設備など、市の協力が重要であると思ったので予算が必要だと思いました…。(坂部果歩：虹の架け橋菊川小笠教室)
- ・特に、無いです。(高山晃：袋井国際交流協会)